

2023年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けて、市では、市議会をはじめ、芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会やあわら市地域ブランド戦略会議などにおいて、協議・検討を行ってきました。このたび、駅および駅周辺を福井県の北の玄関口にふさわしい**交通結節点と魅力発信拠点**として、**駅利用者の利便性の向上**を図るとともに、**市民に親しまれ、市民と来訪者が集い、ともに憩えるエリア**として整備し、**駅周辺のさらなる賑わいを創出**するため、「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」を策定しました。今後は、年次計画を立て、着実に整備を進めていきます。

# 福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい空間」に！！

## ～芦原温泉駅周辺まちづくりプラン～

問合せ 新幹線まちづくり課 ☎73-8034

1. 交通結節点、魅力情報発信の機能強化
2. 市民と来訪者が集い、憩えるエリアの整備



駅利用者の利便性の向上  
駅周辺のさらなる賑わいの創出



### 西口駅前広場の整備

現在のロータリーの位置に、駅利用者や地域住民が集うくつろぎや賑わい空間として、新たに西口駅前広場を整備します。

#### ① 賑わいホール（ウェルカム施設）（仮称）

雨、風、雪の天候に左右されることのない屋内スペース（約330㎡）で、団体客の待合場所やイベントなどを行うことのできる空間を整備します。また、ホール内にカフェやトイレを配置します。

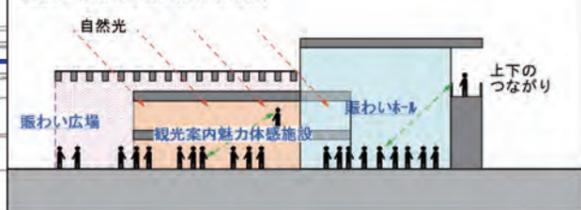
#### ② 賑わい広場（仮称）

約600㎡の屋根付き広場を設け、市民の活動・活躍の場として多目的に活用できるスペースを整備します。例えば、文化・スポーツ団体や小中高生、農業者、商業者などが、ステージでのイベントやフルーツマルシェ、野菜の軽トラ市などを行うことができます。

#### ③ 観光案内・魅力体感施設（仮称）

2階建てで、1階にはあわら市およびその周辺エリアを多言語で幅広く紹介できる観光案内所をはじめ、お土産として地域の逸品の販売所などを配置します。2階には、あわら市や嶺北北部の自然、歴史、文化、食、伝統工芸、産業、祭り、観光地などの魅力を展示や映像で体感できるスペースや親子が楽しめるキッズスペースを計画しています。

#### ■西口駅前広場 断面概念図



### 西口駅前広場整備イメージ



駅前商店街

無電柱化

土地活用検討街区  
（現在：民有地）

金津本陣にぎわい広場

aキューブ

西口駐車場  
（現在：西口駐車場、民有地）

	【現在】	【将来】
駅前駐車場	110台	→ 西口交通広場として整備
西口駐車場	104台	→ 300台
東口駐車場	164台	→ 164台
合計	378台	→ 464台

### 西口駐車場の整備

現在の平面駐車場を拡大し、あわら市だけでなく、周辺地域からの駅利用者や西口駅前広場などでのイベントなどの参加者を見込み、約300台が駐車可能な立体駐車場を整備します。



整備イメージ（新高岡駅市営駐車場）

### 土地活用検討街区の整備の検討

駅周辺の整備と並行して、ビジネスホテルなどの民間事業者の動向や地権者など関係者の意向を踏まえ、駅西口の機能充実や賑わい創出を図るため、さらなる協議・検討を進めます。併せて、金津本陣にぎわい広場の利活用を検討します。

西口交通広場  
（現在：駅前駐車場）

### 交通広場の整備

路線バス、タクシーなどの公共交通機関利用者や一般車の駅利用のために、西口・東口にそれぞれ交通広場（ロータリー）を整備します。

### 自由通路の整備

新幹線駅舎の改札のある2階部分から駅西口と東口に入出りできる自由通路を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。

無電柱化

現在のJR線は、第3セクターの事業者に移管され、普通列車や貨物列車が走ります。

在来線駅舎

自由通路

新幹線駅舎

新幹線の駅舎や線路は、高架化され、列車は3階部分を走ります。

### 連絡通路の整備

在来線駅舎は、当面の間は現駅舎を利用することとし、円滑な乗り換えができるように新幹線駅舎との連絡通路を整備します。

東口交通広場  
（現在：民有地）

### 新幹線駅舎デザイン



駅デザインコンセプト  
「あわら温泉の癒しと旅情が漂う駅」